

第3回定時総会議事録

1. 開催年月日及び時刻 平成29年6月4日(日) 15時30分～17時15分

2. 開催場所 総武病院ライブケアセンター

3. 出席者数

会員総数 410名(本日付) 平成29年3月31日付 385名

出席者数 247名(内訳:本日出席者 79名、書面表決者 153名、表決委任者 15名)

4. 書記 宮野真理子(医療法人社団聖母会)

5. 議長の選任及び議事録署名人に関する事項

定刻に至り事務局より開会を宣言し、本日の会員総会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議長の選任を諮った。事務局より成田赤十字病院星野宰賢氏を推薦し、満場一致をもって選任された。続いて、議長より挨拶の後、議長から議事録署名人を指名したい旨を述べたところ全員意義なく賛成したので、議長は下総精神医療センター野田綾子氏、及び船橋北病院木村友一氏を議事録署名人として指名した。その後、議案の審議に入った。

6. 審判事項

第1号議案 平成28年度事業報告

第2号議案 平成28年度決算

第3号議案 平成29年度事業計画

第4号議案 平成29年度予算

第5号議案 平成29年度役員体制

7. 議事の経過の概要及び議決の結果

第1号議案について

まず、この議案について、事務局が議長より説明を求められ、事務局から説明を行い、山崎会長が補足を加えた。

議長が会場からの質問を求めたところ、会場より、資料の訂正について声が上がった。また研修会の実施日程が集中的になることがあるので、日程を離すと参加しやすくなるのではないかという意見があった。議長の求めに応じ、会長及び事務局より資料を訂正する旨の回答、また研修会開催日程については善処する旨の回答があった。

議長はこの議案の賛否について議場に諮ったところ、

書面票決による反対0 委任状による反対0 挙手による反対0 合計0

書面票決による保留4 委任状による保留0 会場による保留0 合計4

書面票決による賛成150 委任状による賛成15 会場による賛成79 合計244となり、出席会員の議決権の過半数を超える賛成を得られたので、本議案は原案通り承認可決した。

第2号議案について

まず平成28年度決算報告に当たり、議長に求められ、会長から当協会の顧問税理士である片岡税理士の紹介があった。片岡税理士から挨拶及び、会計関係書類の読み方の説明があった。

その後、平成28年度決算について議長より説明を求められ、会計担当の岩下理事が実施した。

次に、議長より監査報告を求められ、豊田監事より、会計業務の煩雑さを指摘した事、領収書や帳簿の不備があり整理したとの報告があった。また監査の結果、事業報告及びその付属明細書について、正しく記載されている。理事の職務について、部会や委員会について、悪意のある行為・違反などもなかった。理事会を隔月で実施しているが、職務を遂行し、年間計画を立てたうえで実施した方がよいとの報告があった。また、前期監査で会計担当の複数担当化を提案したが、実現しなかった。今期は確実に遂行するようにと伝えたいとの発言があった。また会費改定について、具体的に金額をいくりにするのか、検討する必要があると理事会で検討してほしいとの発言があった。また、金銭出納帳など帳票類を統一化・可視化できる書式づくりを行ってほしい、予算・決算を部会等毎に出せるようになると良いとの発言があった。

議長が会場からの質問を求めたところ、会場より、会計関係書類の見方について質問があり、片岡税理士から説明があった。また、税理士に入ってもらい帳票類が揃って良かったが、日常業務をこなしながら当協会の会計担当をするのは大変だと思う、会費を挙げてでも会計担当者を雇用できる体制を整えたほうが良いと思うとの意見があった。

議長はこの議案の賛否について議場に諮ったところ、

書面票決による反対0 委任状による反対0 挙手による反対0 合計0

書面票決による保留4 委任状による保留0 会場による保留0 合計4

書面票決による賛成149 委任状による賛成15 会場による賛成79 合計243となり、出席会員の議決権の過半数を超える賛成を得られたので、本議案は原案通り承認可決した。

第3号議案について

平成29年度事業計画については、議長より説明を求められ、山崎会長が実施した。

議長が会場からの質問を求めたところ、会場より、今年度の「精神保健福祉士は何ができるのか…」というテーマは弱すぎる。「ワーカーは何をなすべきか」を前面に押し出してほしい。精神保健福祉士として生き残るには、ワーカーとしてどう生き残るか、職業人として生き残ることについて考える必要ではないか。また検証を掲げているが実践と検証をセットで考えてほしい、との意見があった。議長から指名を受け山崎会長より、力強い意見を受けた。何をなすべきか、という意味を含めて、今年度やっていきたい。各種制度の実践については、実践は取り組んでいるという前提で検証に直結してしまったが、実践を確認するという点で、アンケート等も実施したいとの回答があった。

議長はこの議案の賛否について議場に諮ったところ、

書面票決による反対0 委任状による反対0 挙手による反対0 合計0

書面票決による保留4 委任状による保留0 会場による保留0 合計4

書面票決による賛成149 委任状による賛成15 会場による賛成79 合計243となり、出席会員の議決権の過半数を超える賛成を得られたので、本議案は原案通り承認可決した。

第4号議案について

平成29年度予算案について、議長より説明を求められ、会計担当の岩下理事が実施した。

議長が会場からの質問を求めたところ、会場より質問はなかった。

議長はこの議案の賛否について議場に諮ったところ、

書面票決による反対0 委任状による反対0 挙手による反対0 合計0

書面票決による保留5 委任状による保留0 会場による保留0 合計5

書面票決による賛成148 委任状による賛成15 会場による賛成79 合計242となり、出席会員の議決権の過半数を超える賛成を得られたので、本議案は原案通り承認可決した。

第5号議案について

平成29年度理事役員体制について議長より説明を求められ、山崎会長が実施した。

議長が会場から質問を求めたところ、会場より役員体制がしっかり作られていると思うが、業務負担が大きいのではないかと。定款には役員の設置は 25 名までとなっているが、役員を増やす考えは？との質問があった。

議長の求めに応じ山崎会長より、役員選出はいずれ選挙という形で立候補を募って実施したいと考えている。役員を増やす点ありがたい意見として、次年度に生かしたいとの回答があった。

議長はこの議案の賛否について議場に諮ったところ、

書面票決による反対 0 委任状による反対 0 挙手による反対 0 合計 0

書面票決による保留 5 委任状による保留 0 会場による保留 0 合計 5

書面票決による賛成 148 委任状による賛成 15 会場による賛成 79 合計 242 となり、出席会員の議決権の過半数を超える賛成を得られたので、本議案は原案通り承認可決した。

8. 閉会

議長は以上を持って、本日の議事を終了したことを述べ、17時15分閉会宣言をした。

以上、この議事録が正確であることを証する。